



火傷の治療を受けられなくて、  
膝が赤く爛れたチボリの幼児



2016年7月25日発行

NPO 法人ビラオンの医療と自立を支える会

(英文名略称・HANDS)

本部：〒227-0033 横浜市青葉区鴨志田町 516-11

TEL & FAX: 045-500-9151

E-mail: hands-mindanao@nifty.com

<http://homepage3.nifty.com/hands/>

郵便振替口座 00210-5-72693

(加入者名) ビラオンの医療と自立を支える会

## ミンダナオ島出身のドゥテルテ氏の大統領就任 —期待と懸念、現地で、日本で—

その過激な発言から、「フィリピンのトランプ氏」と呼ばれたドゥテルテ氏が第16代大統領に就任して半月ほど経ちました。ミンダナオ島のダバオ市長から、一気に国政の長にまで上り詰めた背景には、市長時代のダバオの治安改善の手腕評価とミンダナオの和平や汚職一掃への期待があるといわれています。一方で、国際感覚や外交手腕については未知数です。この12日には前大統領が国際仲裁裁判所に提訴した南沙諸島問題の判決が出て、就任早々、難しい外交問題に直面することになりました。ミンダナオにかかわるものとして、元ダバオ市長を多少身近に感じるせいか、ドゥテルテ大統領大丈夫？とその手腕が気になります。

このドゥテルテ氏、実は、在日フィリピン人の間でも大変人気があったようです。当団体20周年記念イベントのゲストとして、ミンダナオ出身歌手アリソンさんをお招きするため、打ち合わせの連絡をしていましたが、在日フィリピン人の中にドゥテルテ大統領待望論が強まっていて、アリソンさんも、その集まりでお忙しいとわかりました。祖国フィリピンの汚職蔓延や治安不安を何とかしたいと願うなかで、ダバオの治安改善の立役者ドゥテルテ氏に期待が高まったのでしょうか。

大統領当選が決まって、在日フィリピン人有志の皆さんにより、就任式直前の26日に、日比谷公園で祝賀コンサート(写真)が企画されました。私たちの「ミンダナオのつどい」も同じ26日です。かくして、アリソンさんは、日比谷との掛け持ちとなり、私たちはミニライブやミンダナオ先住民族事情の講演など、アリソンさんの出演時間を短縮して協力させていただきました。



毎年6月は、現地事業モニターの時期としていて、今年も大統領選を含む各種選挙が終わって1か月余りたった6月17日にミンダナオ入りしました。私たちの事業地域は、ダバオ市から車で3時間ほどの距離にあります。ドゥテルテ氏が選挙に勝った喜びの余韻が感じられるかと思いましたが、事業地域で接するのは、NGOや教会関係者など限られた人々だったせいか、むしろ、時に人権無視の強権による治安回復手法をとった元ダバオ市長に対して、懸念のほうが強いという印象でした。

7月3日にJICA地球ひろばで開催された日比NGOネット主催のフォーラム会場でも、新大統領のことが話題になりました。参加した日本の若者からの質問に、ミンダナオとマニラから招かれたゲストが答えましたが、新大統領への期待ばかりではないことが分かりました。

ミンダナオからのゲストは、長年の懸案である和平実現、国内難民状態のダバオ近郊の先住民族問題も早期に解決してくれるのではという期待を口にしましたが、一方で、マニラのストリートチルドレンにかかわるNGO代表は、検事時代のドゥテルテ氏の人権侵害の事例に触れて、警戒感をあらわにしました。

フィリピンの中では治安不安、貧困など一番課題の多いミンダナオで、しかも少数派の先住民族やムスリムとかかわる私たちにとって、新大統領に対しては、現状を変えてくれなくては困るという気持ちがあります。

汚職問題が解決すれば、末端の役所の財源不足も解消し、貧困家庭の子ども対象4 P's (84号P4) も正しく機能して、医療費無料や教育費補助の恩恵を等しく受けられます。イスラム過激派や共産ゲリラNPAとの実質的な和平が実現すれば、定職のない多くの若者の受け皿となる企業進出が増えるかもしれません。評価の分かれる新大統領ですが期待したいと思います。(山崎)